

国立長寿医療研究センターにおける 認知症施策推進大綱の推進への取り組み

1. 普及啓発・本人発信支援 KPI/目標
 - 全都道府県においてピアサポーターによる本人支援を実施
 - 市町村における「認知症ケアパス」作成率 100%
3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援 KPI/目標
 - 患者・入所者の状態に応じた認知症リハビリテーションの開発・体系化
 - 認知症リハビリテーションの事例収集及び効果検証

認知症の人と家族ペア教室
「Petit茶論」

認知症ケアパス手引きの作成
都道府県対象支援会議

脳・身体賦活リハビリテーション

認知症の人と家族ペア教室「Petit茶論」のポスター。虹のイラストがあり、「好景のため認知症対策！」と書かれています。内容は認知症の予防やケアに関する情報です。



認知症ケアパス作成と活用の手引きの表紙。黄色とオレンジの暖かい色調で、家々のイラストが描かれています。

認知症ケアパスの作成と活用の表紙。黄色とオレンジの暖かい色調で、家々のイラストが描かれています。



認知症と介護者のためのリハビリテーションマニュアルの表紙。ピンクと白の優しい色調で、桜の花のイラストが描かれています。



認知症の人・家族が、学びあい、教えあい、
支えあいながら交流する。本人ミーティング
も含まれる。
介入の効果に関してRCTで検証している。

令和2年度老人保健健康増進等事業「認知症ケア
パスの作成と活用の促進に関する調査研究事業」
令和3年度老人保健健康増進等事業「認知症ケア
パスの作成と活用に関する個別的支援手法の調査
研究」

延べ3,283名が参加。本人と家族介護者の両者
を対象に認知症の重症度に応じた運動・認知・
生活プログラムを提供。生活障害の進行が抑制
された。脳活リハのノウハウが詰まったマニ
ュアルも発行した。

2. 予防 KPI/目標

- 認知症予防に関する取組の事例集作成
- 認知症予防に関する取組の実践に向けたガイドラインの作成
- 認知症 予防に関するエビデンスを整理した活動の手引きの作成



認知症の予防に関するエビデンスの確立 運動、栄養、脳トレによる複合的予防法の有効性を検証

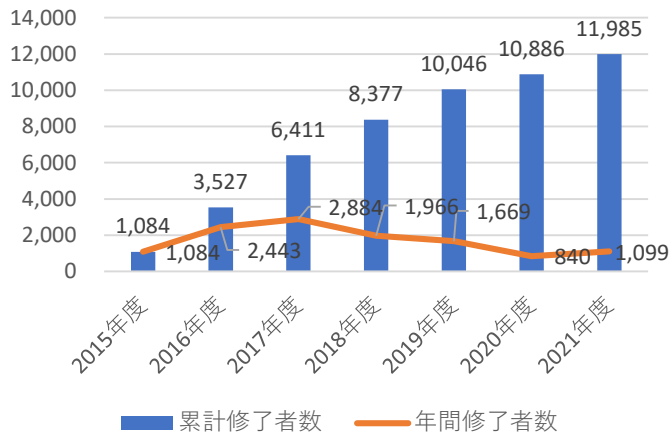


令和2年度老人保健健康増進等事業「認知症予防に資する効果的な取組事業に関する調査研究事業」
令和3年度老人保健健康増進等事業「認知症予防に資する取組の実践に向けたガイドラインの作成に関する調査研究事業」

3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援 KPI/目標

- 認知症初期集中支援チームの先進的な活動事例集作成
- 初期集中支援チームにおける訪問実人数 全国で年間 40000 件、医療・介護サービスにつながった者の割合 65%

認知症初期集中支援チーム員研修受講者数

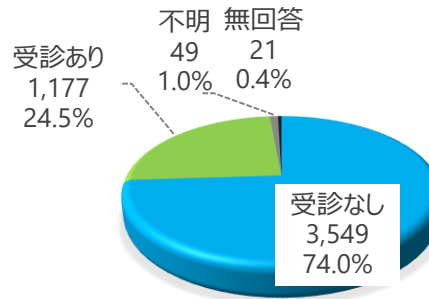


認知症初期集中支援チーム 活動事例集

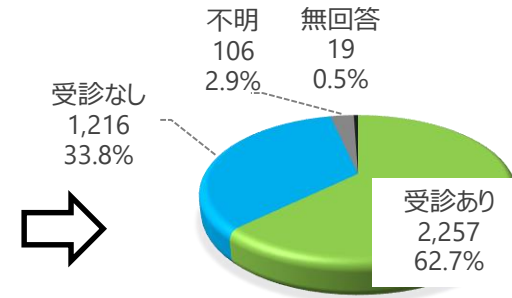
概要版

～地域の社会資源等との連携に着目した優良事例集～

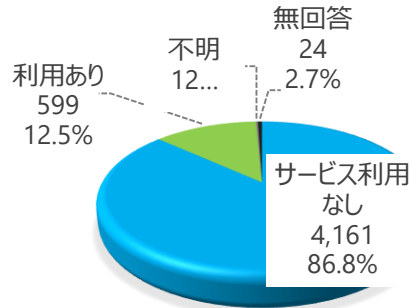
介入時の認知症での受診状況
n=4,796



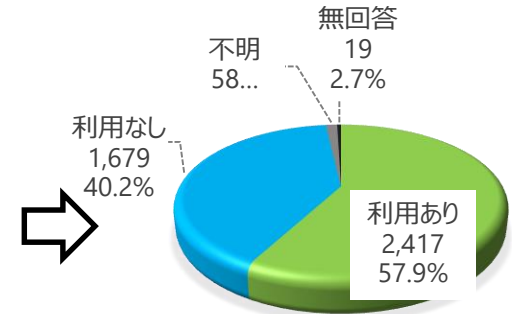
終了時の認知症での受診状況
n=3,598 (介入時受診なしが不明)



介入時のサービス利用状況
n=4,796



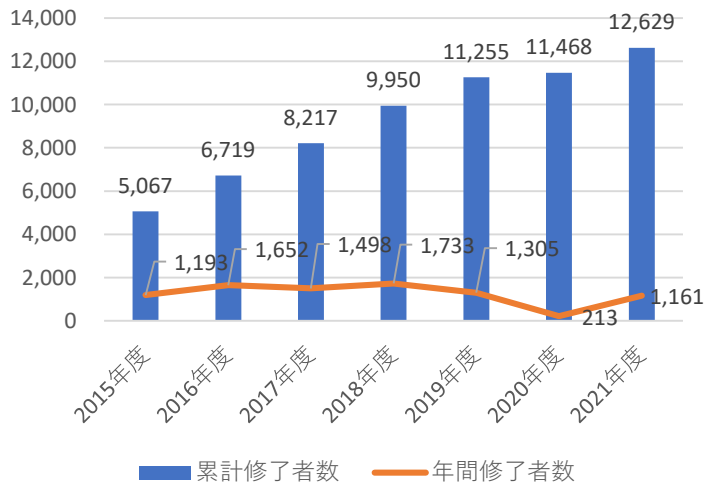
終了時のサービス利用状況
n=4,173 (介入時利用なしが不明)



3. 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援 KPI/目標

- 医療従事者に対する認知症対応力向上研修受講者数
 - ・ 認知症サポート医 1.6 万人
- 医療・介護従事者 向けの認知症に関する各種研修における、意思決定支援に関するプログラムの導入率 100%

認知症サポート医養成研修受講者数



オンライン研修の導入により、研修受講者数は2025年までに16,000人を達成できる見込み

【研修 39】 認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン

認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン

認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン

認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン

【研修 9】 認知症とともに生きる希望宣言

認知症とともに生きる希望宣言

1. 自分自身がとらわれている現実の壁を破り、前を向いて生きていきます。
2. 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
3. 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわかち合ったり、元気に暮らしていきます。
4. 自分の思いや希望を伝えながら、協力になってくれる人たちを、身近な存在で受け入れ、一緒に歩みます。
5. 認知症とともに生きている経験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

【研修 35】 成年後見制度利用促進基本計画について

成年後見制度利用促進基本計画について

成年後見制度利用促進基本計画について

成年後見制度利用促進基本計画について

認知症サポート医養成研修において、「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」「認知症とともに生きる希望宣言」「本人にとってのよりよい暮らしガイド（本人ガイド）」「成年後見制度の利用促進」等をプログラムに導入している。